

卷頭言



ウェア、LAN 端末対応のエミュレータ「OPENWAY EM」、分散コンピュータ間で自動ファイル転送を行う「OPENWAY FT」、さらにホストの出力する帳票データをペーパレスで処理する、電子帳票システム「FiBridge」を開発してきた。

コンピュータ技術、通信技術の進歩はシステムで取り扱う情報の質にも変化をもたらしている。最近のマルチメディアに見られるごとく、画像情報、イメージ情報の比重が今後ますます大きくなるものと予想され、関連する技術の開発にも鋭意取り組んできた。

川崎製鉄では、研究の場で開発してきた画像処理技術をベースに商品化した画像入出力システムを販売してきたが、一層の高速処理とハイビジョン等の高精細画面对応を可能にした高精細画像入出力システムへと高度化した。さらに、画像処理技術を適用したシステムを社内外に納入してきたが、本号では（株）資生堂殿と共同開発した「毛髪成長度の測定システム」と、社内適用の事例として「コークス炉壁の診断システム」を紹介する。

また、データベースについてはイメージ情報に関わる新しい要求を解決する必要がある、東日本旅客鉄道（株）殿に納入した「鉄道沿線画像の活用システム」を紹介する。イメージ